

平成30年度「県立学校オリンピック・パラリンピック教育推進事業」

県立児玉高等学校 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	対象学年 : 全学年 クラス・人数 : 第1学年98名、第2学年107名、第3学年117名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( ) ② 行事名 (新井千鶴選手世界柔道選手権大会優勝報告会) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校卒業生である新井千鶴選手の優勝報告会を通じて、アスリートとしての生き方や競技に対する姿勢、目標に向かって努力する心構えなどを学ぶとともに、全校を挙げて応援する気運を高める。</li> <li>国際舞台で活躍している卒業生からの刺激を受けることで、在校生の競技力の向上や、努力する気持ちの大切さを学ぶ。</li> </ul>
5 取組内容	<p>(1)講師 新井千鶴選手 (三井住友海上火災保険(株)所属) 本校卒業生 世界柔道選手権ブタペスト大会女子 70 kg級 優勝 世界柔道選手権バグー大会 70 kg級 優勝 グランドスラム大阪大会 70 kg級 優勝 (世界柔道選手権東京大会出場内定)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2)次第 ①世界柔道選手権大会DVD視聴 ②来賓登壇 ③新井千鶴選手入場 ④校長あいさつ ⑤記念品および花束贈呈 ⑥新井千鶴選手優勝報告</p>

	<p>⑦祝辞および激励の言葉        ⑧来賓紹介および            メッセージ披露        ⑨記念写真撮影        ⑩新井千鶴選手退場</p>  <p>本校卒業生である新井千鶴選手を招聘し、優勝報告会を開催いたしました。全日本合宿や海外遠征など多忙を極める中、日程を調整し開催にこぎつけた。        当日は、生徒会役員の司会により和やかな雰囲気、かつ、多くの来賓の方をお招きし、盛大な優勝報告となった。        世界柔道選手権、柔道グランドスラム大阪大会、2つの金メダルを掛けて登場し、全校生徒、来賓の方々の前で、2019年8月下旬に日本武道館で行われる世界選手権、2020年東京五輪に向けて力強い決意を述べた。</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際舞台で現役選手として活躍している卒業生から、力強い決意とエールを送られ、全校生徒の心に強く響いた。</li> <li>・現役柔道部員には特に印象に残った取り組みとなった。</li> <li>・全校生徒との集合写真を撮影したことにより、応援する一体感がより強まった。</li> <li>・PTA、後援会、同窓会、地元自治体、地域住民の方々へ案内を出すとともに多くの方々に来校をいただき、地元の活性化の一助となった。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点        (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校時代の顧問が現在も在籍しており、関係方面との連絡調整を円滑に進めることができた。</li> <li>・現役選手ということもあり、所属している企業等との調整には配慮を要したが、タイトなスケジュールの中、開催依頼を快諾していただいた。</li> <li>・優勝報告会の開催通知を全校生徒に配布するだけでなく、後援会、同窓会、地元自治体および関係団体、地域住民の方々へ周知し、盛大に開催することができた。</li> </ul> 
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時間に制限があったため、質疑応答等の生徒や来校いただいた方々との交流時間を十分に確保することができなかった。</li> <li>・開催決定から開催までの時間が十分に確保できず、競技に対する理解や事前学習等にももう少し工夫が必要だった。</li> <li>・報告会終了後、部活動指導を含めた競技指導を行ってもらうべきであった。</li> </ul>
<p>9来年度以降        の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は「体育コース」を設置している学校なので、オリンピックに限らず、広くスポーツ全般に携わっている方々と交流する機会を設けたい。</li> <li>・障がい者スポーツへの理解を深めるためにも、パラリンピアンの方の講演や実技体験・交流なども企画し、スポーツ全般にさらに理解を深めたい。</li> </ul>

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立児玉高等学校 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	対象学年 : 全学年 クラス・人数: 第1学年6名、第2学年19名、第3学年14名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( ) ② 行事名 (小学生と高校生とのスポーツ交流事業) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生との交流を通して、調和のとれた豊かな人間性や社会性を育む。</li> <li>小学校体育における実技指導の充実を図り、児童の体力向上に資する。</li> <li>技術指導のみならずスポーツの楽しさを教える良い機会とする。</li> </ul>
5 取組内容	<p>(1) 小学校4年生対象「サッカー」授業の補助</p> <p>① 実施生徒 サッカー部員 23名 1年 3名 2年 13名 3年 7名</p> <p>② 実施日 (4日間) 平成30年11月1日(木)、2日(金)、7日(水)、8日(木)</p> <p>③ 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本練習の補助 (ドリブル、パス、シュート)</li> <li>試合の審判</li> <li>試合中の技術指導</li> </ul>



(2)小学校5・6年生対象「バスケットボール」授業の補助

①実施生徒

女子バスケットボール部員 16名 1年 3名  
2年 6名  
3年 7名

②実施日(6日間)

平成31年1月29日(火)、31日(木)  
2月 4日(月)、5日(火)、6日(水)、12日(火)

③実施内容

- ・基本練習の補助(ドリブル、パス、シュート)
- ・試合の審判
- ・試合中の技術指導



6 主な成果

- ・初日は児童に遠慮しながら指導を行っていたが、時間の経過とともに徐々に親しくなり、技術指導など大きな声をかけながらコミュニケーションをとり、適切に授業の補助を行っていた。
- ・技術指導のみならずサッカー、バスケットボールを通じてスポーツの楽しさを教える良い機会とすることができた。
- ・高校生による試合は児童にとって大きな刺激となり、児童のサッカー、バスケットボールへの興味関心を高めることができた。
- ・担当教諭からも授業がとても活性化し、児童が生き生きとしていたと感謝のお言葉をいただいた。
- ・児童からもお礼の言葉や、感謝のお手紙をいただき、高校生にとってもこの交流を通して豊かな人間性や社会性を育むことができた。



7実践において工夫した点(事業の特色)

- ・4月下旬～5月中旬 交流を希望する高等学校の募集
- ・5月下旬～6月中旬 関係市町村教育委員会に交流の可否を確認
- ・6月下旬 関係市町村教育委員会、関係高等学校に交流の仮決定
- ・6月下旬～7月中旬 小学校と高等学校で交流内容を話し合い、交流決定

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月中旬～ 交流の実施</li> <li>・ 地元小学校ということもあり、打合せなどとてもスムーズに進めることができた。また、小学校所在地もとても近いため、生徒の移動も安全に実施することができた。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校の時間割の関係で、同じ曜日・同じ時間に重なってしまい、授業の進度に影響が出てしまう。(曜日の振替等を行ってもらう必要がある。)</li> <li>・ 他の部活動や生徒会などにも声掛けを行い、交流の機会を増やす。</li> </ul>
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校は「体育コース」を設置している学校なので、広くスポーツ全般に交流する機会を設けたい。</li> <li>・ 障害者スポーツへの理解を深めるためにも、実技体験・交流なども企画し、スポーツ全般にさらに理解を深めたい。</li> </ul>